

【4月7日】

すてきな出会いがたくさんありました！

—着任式、始業式、入学式、そして学級びらき—

令和3年度初日、すてきな出会いがたくさんありました！

着任式。12名の職員が、放送と写真によって生徒たちに紹介されました。その後、転入職員を代表してS教頭があいさつをしました。

「皆さんと一緒に、これから私たちも新しい瑞浪北中学校を作り上げていきたい、より高め合う仲間の一員でありたいと思っています。」

新しい顔ぶれがそろい、いよいよ令和3年度の瑞浪北中学校のスタートです。



始業式。それぞれの教室で、放送を通して行われました。学年が一つずつ上がり、新しい立場が生まれました。

「今年度も目指すのものは『主体性』です。『自分で課題をみつけ、自分で解決策を考え判断し、自分の意思で実践する』これを本物にしていきましょう。」

芽を出しつつある北中生の「主体性」を、満開に咲かせようと校長は式辞で語りかけました。

それを受けて、生徒会長のK・S君は、次のように語りました。

「昨年度の最後に深めた縦のつながりを今年度にも生かして、全校の力でよりよい瑞浪北中学校を作り上げましょう。」

全校生徒に昨年度以上の奮起を呼びかけました。



入学式。大きめの制服に身を包み、胸を張って新入生が体育館に入場してきました。緊張の面持ちでしたが、終始真剣さが漂い、中学生の自覚を感じさせました。

とりわけ素晴らしかったのが、名前を呼ばれた時の返事でした。「はい！」と全員が体育館に響く声で返事ができました。

新入生代表であいさつをしたK・A君も、

堂々とした態度ではっきりと期待と決意を述べました。

「今までとは違った環境と新しい出会いの中、中学生活がスタートします。不安な気持ちはありますが、新たな目標をもち、努力を続けていきたいと思います。」

学級びらき。2，3年生は新しい教室で学級びらきが行われました。一発芸を披露する担任、率先して配付物を配る生徒、思いを熱く語る担任、目を輝かせてその話を聞く生徒……そこには、気持ちを前向きにさせるすばらしい出会いがあふれていました



。これから出会いが続きます。後輩と後輩の出会い、係や委員会の出会い、部活動の出会い……春はまだまだ続きます。